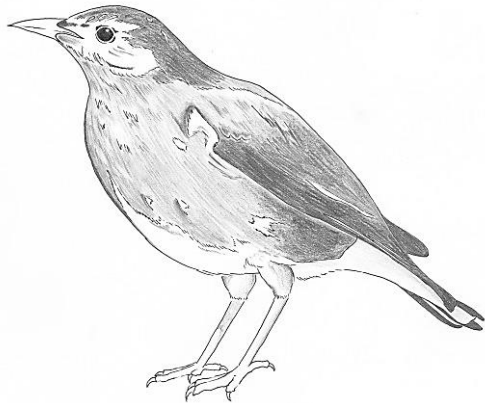




とねり自然図鑑

動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

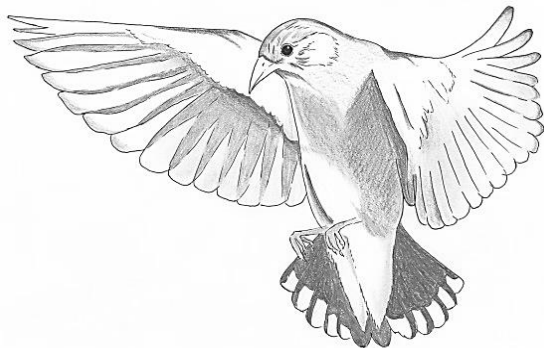
【撮影した軽部さんのつぶやき】 雪の積もった舎人公園の朝、石造りの柵にちょこんと乗っているかわいらしいムクドリを撮影しました。



名称：ムクドリ（椋鳥）
 学名：*Sturnus cineraceus*
 体長：約25cm
 体重：約86g
 分布：東アジア
 主食：植物の種子、果物、幼虫など
 天敵：カラス、タカ、猛禽類など

【大きさの基準となる鳥】

○ムクドリは鳥の大きさを測る基準となる鳥の1種です。大きさについて『ものさし鳥』として呼ばれ、4種類の鳥が基準となっています。その4種類とは、スズメ（約14.5cm）、ムクドリ（約25cm）、キジバト（約33cm）、ハシブトガラス（約57cm）です。例えばここに含まれない鳥を見つけた時、「スズメより大きいけれど、ムクドリより小さい」という風に覚えておくのに使われます。



【人との関係】

○元々は、農作物につく害虫を食べてくれる益鳥とされていました。平均的なムクドリの家族だと親鳥2羽に雛が5～6羽ですが、この家族が1年間に捕食する害虫の数はおよそ100万以上ともいわれています。昔は害虫を駆除するのに大変な金額がかかったため、とてつもない利益をもたらしてくれる「農林鳥」として呼ばれた程でした。

現在では、農村の都市化によってムクドリの生活環境が破壊され、環境に適応するために大量に増殖しました。その結果、鳴き声による騒音や糞害などが問題になってきています。

昔は益鳥として知られていたのに現在では害鳥として知られるようになってしまいました。しかし、その原因は人による環境破壊なのです。環境についてひとりひとりが考えていかなければなりませんね。

【舎人図書館にある参考資料の一部を紹介↓】

吉野俊幸 『野鳥 新ヤマケイポケットガイド改訂版』 山と溪谷社
 大橋弘一 『鳥の名前』 東京書籍
 上田恵介 『鳥 小学館の図鑑NEO』 小学館

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！